

第4回秋葉山再生連絡会議 会議録(要旨)

- 日時: 令和6年10月25日(金)午前10時05分~11時10分
- 場所: 南陽市赤湯公民館(えくぼプラザ)大会議室(南側)

- 出席者16人 ・山形大学 ・林野庁置賜森林管理署 ・米沢地方森林組合
・山形県置賜総合支庁: 森林整備課、河川砂防課、環境課
・南陽市: 総合防災課、建設課、商工観光課、農林課

1開会(10:05)

進行:南陽市農林課長補佐

2挨拶 農林課長

3意見交換 座長:農林課長

①現地調査(第3回連絡会議:9月25日)を踏まえて(山形大学野堀先生のレポート報告)

■秋葉山林野火災跡地の流域解析

- ・現時点で土砂の流出等は観測されていないが、今後の降雨による土壌の流亡が懸念されるため、秋葉山周辺の水文学的解析を行い必要な対策を探った。
- ・秋葉山に係る流域は6流域あり、流域面積に対して上層焼失面積が広いのはAの18.8%で最も危険度が高く監視優先順位も高い。当面は、Aの内原沢1の唐沢ため池を注視するのが妥当と考えられる。
- ・今後、雪による影響があるため、雪解けの春には状況が変わることが予想される。

◆県置賜総合支庁河川砂防課

- ・Aは内原沢1、Cは宮内沢9、Fは金山沢1、Eは大沢(現在事業中で予算が付けば令和8年度に完了予定)。内原沢は9月に確認した通り、焼失灰や土砂の流入は今のところ見られない状況だが、大雨警報時や融雪後に引き続き調査継続して経過観察していく。宮内沢9と金山沢は流域は急だが市道や民家の所は平坦であり土砂が到達するには山が崩れない限り影響はないと考えている。

◆県置賜総合支庁森林整備課

- ・ドローン調査は既に飛ばしているので後日画像は提供したい。来春の調査も必要と考えている。
- ・植生調査については、夏にプロットし情報を提供しているが、今後も状況を報告していきたい。

◆置賜森林管理署

- ・根萌芽の再生が進んでおり、今日見た限りでは紅葉も相まって目立たなくなり大丈夫そうだなという印象。
- ・焼損木の処理については、危険な木や山荘跡、歩道の周辺は必要性があると思うが他の急峻な斜面での再生は課題として捉えている。

②秋葉山焼損エリアの確認について(農林課より)

- ・山形大学名誉教授から提供いただいた資料を参考に解析し、「全層焼失」「上層焼失」「一部火災(下層焼失)」に整理。赤線で囲った「全層焼失」は1.51ha。橙色の線で囲った「上層焼失」は27.79ha。この結果を最終的なものとし、今後再生事業の内容や順位などについて検討を重ね、来春の萌芽状況の調査結果なども加味しながら、整理していくことになるものと考えている。

③米沢地方森林組合から(農林中金森力事業について)

- ・農林中金の補助事業(上限3,000万円)を申請し、境界の明確化や森林が持つ多面性を活かせる整備を考えている。現在、1次審査通過しこれから現地審査の2次審査に入る状況です。

◆市建設課(工事の進捗状況について)

- ・山荘を撤去し搬送実証用地の駐車場として整備済み。秋葉フルーツライン線舗装新設工事は待避所3カ所、舗装、水路等工事中で11月上旬の完成見込。

④市民関係者意見交換会の持ち方について

- ・11月22日(金)は前段で秋葉山に関わる市民関係者(地権者、宮内小学校、神社関係者等)から市長が意見を賜る意見交換会を行い、後段で意見交換会を踏まえた再生連絡会議を開催したい。再生連絡会議の関係者はオブザーバーとしての参加を考えている。
- ・来春にドローンによる空撮を行い、上層焼失範囲が広がるのか狭まるのかを確認した上で再造林等の判断や方向性を示していくとの考え方。
- ・林野火災の教訓を風化させない意識づけ必要。来年に向けてスモールスタートとして、宮内小学生を始めとする市民関係者と一緒に植樹を実施していきたい。市民関係者からの理解を得ていく。

・警戒流域については河川砂防課で定点観測を継続いただき、危険性については住民に情報公開し安全を知らせしていく。

◆山形大学名誉教授

・再生連絡会議がアピールするため、例えば、「森林再生秋葉山モデル」のような用語を作った方が良い。この再生モデルはかなり進んできており、今後どうしていくかは11月の会議で方向性が見えてくる。全層火災の1番のところはパイロットエリアになるのではないか。モデルの中の目玉にすると市民も全体像もわかるし、象徴的なものとして発信できる。

◇市民の意見を聞き、市民が参画しながら、秋葉山の林野火災を教訓として子供たちや地域の方を主体にイベントを複数年実施したい。森林組合の対応が見えてくると、共有林と個人の土地の再生方法を分けることも考えられる。

◆置賜森林管理署

・国土緑化推進機構の「緑の羽根募金」について山火事再生に向けた取組思案。具体的な内容はないがタイプアップできればと考えておりお知恵をいただきたい。

◆環境課

・道路と仮設駐車場・資材置場を確認。自然公園である以上適正手続きを取っていただく必要はあるが、どうやったら実現できるかというスタンスで引き続き対応したい。

4その他(今後の日程)

・次回会議は11月22日(金)に開催。

5閉会(11:10)